



日本骨髄バンクの現状（2018年11月末現在）

	10月	11月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,019	3,061	493,717	755,615
患者登録者数	264	239	3,490	55,258
移植例数	109	118	—	22,626

■11月年代別ドナー登録者数（現在数）

10代	4,523人
20代	74,114人
30代	136,697人
40代	211,856人
50代	66,527人

■11月の20歳未満の登録者 412人

■11月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／798人、献血併行型集団登録会／2,185人、集団登録会／35人、その他／43人

■11月末までの末梢血幹細胞移植（PBSCT）累計数：606件

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 移植患者情報が記載された書類を誤ってドナーに送付した事案について

当法人からドナーの方に、移植患者さんの一部の情報が記載された書類を誤って発送した事案が発生しました。具体的には、本来は採取施設の医師に送付すべき書類で、移植患者さんのID、血液型等（氏名・住所等は含まれません）が記載された書類を、骨髄提供予定のドナーの方に対して送付していたことが、ドナーの方から当法人への連絡により判明したというものです。

これに伴い11月20日に厚生労働省記者クラブにおいてお詫びするとともに、事案発生の経緯と原因、再発防止策への対応を含めて詳細な説明を行ないました。

詳しくは当法人ホームページのプレスリリースをご参照ください。

◇HOME > お知らせ

2 絵本朗読会『春ちゃんは元気です』、学生ナレーターで新展開

2度の骨髄移植を乗り越え、白血病と闘い抜いた4歳の少女の実話をもとにした感動の絵本『春ちゃんは元気です』。“いのちの大切さ”を語るこの絵本朗読会に新しい動きが始まっています。全国にある滋慶学園の各校で学ぶ学生たちがオーディションを経て選ばれ、ナレーターを務めています。これまで福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校と大阪ダンス&アクターズ専門学校でオーディションが実施されました。

7月23日の城南学園中学校（大阪市）の絵本朗読会では、福岡校の学生3名が迫真の朗読を披露しました。これを皮切りに、11月22日には比治山女子高校（広島市）でも絵本朗読会と語りべ講演会が行われ、大きな感動を呼びました。続く11月30日は、福井市立足羽中学校で絵本朗読会と語りべ講演会が開催されました。同校の全校生徒とPTA約470名が参加し、朗読会では大阪校の学生3名がナレーターを務めました。講演会終了後には活発な質疑応答も行われ、生徒たちの高い関心が伺えました。声優を目指して学ぶ学生たち、その姿を目のあたりにする生徒たち、この絵本朗読会を通じて、若い世代の心にいのちを考えるメッセージが確かに届けられています。

絵本朗読会および語りべ講演会のお問い合わせは、当法人広報渉外部まで。

TEL：03-5280-1789 mail：pr@jmdp.or.jp

3 ドナー助成制度、新たに6市町で導入

新たに6市町で骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度が導入されました。全国で432市区町村になります。

助成内容は各自治体によって異なりますので、直接お問い合わせください。当法人ホームページにお問い合わせ一覧を掲載しています。

◇HOME > ドナー登録されている方へ > 骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ > 提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体

■新たに導入した自治体

- 大河原町、山元町（以上宮城県） ○大熊町（福島県） ○大府市（愛知県）
- 広島市、東広島市（以上広島県）

4 骨髄バンクチャリティーゴルフ大会開催

■ぐるなび骨髄バンクチャリティーゴルフ大会

「第13回ぐるなび骨髄バンクチャリティーゴルフ大会」が11月26日に戸塚カントリー倶楽部（神奈川県）で開催されました。女子プロゴルファー30名、ぐるなび提携レストラン等の関係者90名が参加しました。株式会社ぐるなびや協賛社からの寄付金のほか、女子プロの賞金の一部、オークションの収益金等が大会会長の滝久雄様より当法人の浅野史郎理事に贈呈されました。滝様から「ドナー登録者は現在約49万人。これからもチャリティーゴルフ大会を続け、骨髄バンクを応援していきたい」と力強い言葉をいただきました。参加者、関係者の皆様に感謝申し上げます。ゴルフ大会の様子は以下の日程で放送予定です。

【放送日時】（スカパー、auひかり、ケーブルテレビ等のゴルフネットワークチャンネルでご覧いただけます）

- | | | | |
|-----------|------------|---------|------------|
| 12月22日（土） | 21時～21時30分 | 1月1日（火） | 18時～18時30分 |
| 12月26日（水） | 16時～16時30分 | 1月4日（金） | 12時～12時30分 |
| 12月30日（日） | 11時30分～12時 | | |

■中溝裕子骨髄バンクチャリティーゴルフコンペ

12月3日、女子ゴルフの中溝裕子プロ（当法人評議員）が骨髄移植を受けた日に因んで、毎年恒例のチャリティーコンペが成田ハイツリー（千葉県）で行われました。今年で21年目を迎えます。参加者92名に加え、女子プロゴルファーの皆様17名が参加しました。表彰式では、中溝プロが骨髄バンクへの協力を呼びかけました。このコンペは「NPO法人 食と命のお結び隊」で運営されています。参加者、女子プロ、スタッフの皆様にご挨拶申し上げます。

5 12年目を迎えた読売巨人軍の骨髄バンク支援

読売巨人軍のファン感謝イベント「ジャイアンツ・ファンフェスタ2018」が11月23日に東京ドームで開催されました。読売巨人軍から日本骨髄バンクへの寄付金贈呈式が行われ、石井一夫球団社長から当法人のすがのともゆき小寺良尚理事長に寄付金の目録が贈られました。

12月10日には、みやくにりょうすけ菅野智之選手と宮國椋丞選手が東海大学医学部付属病院（神奈川県伊勢原市）を訪問し、院内学級のクリスマス会に参加しました。選手と一緒にトーンチャイム演奏や、プレゼント交換などを行い、病気と闘う子どもたちにとっても、選手にとっても心に残る温かいクリスマス会となりました。



6 非血縁者間採取施設の新規認定

下記の3施設が新たに非血縁者間採取施設として認定されました。

■非血縁者間骨髄/末梢血幹細胞採取施設

- ・ 国家公務員共済組合連合会虎の門病院分院

■非血縁者間末梢血幹細胞採取施設

- ・ 地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター

これにより骨髄採取施設は191施設、および末梢血幹細胞採取認定施設は113施設となりました。認定施設情報は当法人ホームページでもご覧いただけます。

◇HOME > ドナー登録されている方へ > 面談施設一覧

7 当法人の会議等開催予定

傍聴ご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	1月21日（月）18時～20時 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

8 【安全情報】末梢血幹細胞採取後、発熱・骨痛のため再入院となった事例について

末梢血幹細胞採取を実施し退院後に発熱・強い骨痛のため、再入院となった事例が報告されました。非血縁者間ドナーに対するG-CSF投与に伴う副反応により生じた症状による再入院事例であり、情報共有の観点から周知することになりました。詳細は別紙をご確認ください。

9 【安全情報】骨髄/末梢血幹細胞バッグの取扱いについて（注意喚起）

「採取施設から受け取った末梢血幹細胞バッグに、必要事項が記載されたラベルが貼られておらず、直接ドナー氏名と施設内のIDと思われる番号が記載されたのみであった」との移植施設からの報告を受け、再発防止（注意喚起）の観点から骨髄/末梢血幹細胞バッグの取扱いについて周知することになりました。詳細は別紙をご確認ください。



10 【安全情報】骨髄液を200 μ mフィルターでろ過処理（ボーン マロウ コレクションキット使用）ができなかった事例について

非血縁者間骨髄採取において、骨髄液を200 μ mフィルター(青)でろ過処理（ボーン マロウ コレクションキット使用）ができなかった事例が報告され、再発防止の観点から周知することになりました。詳細は別紙をご確認ください。

11 【安全情報】骨髄液の血漿除去処理における遠心分離の際にバッグを破損した事例について <患者主治医の方へ>

骨髄液の血漿除去処理時に分離バッグの一部が破損した事例が発生しました。過去にも同様の事象に関する報告をしていますが、再発防止の観点から改めて情報提供します。

なお、当該バッグメーカーからの「血液バッグ遠心破損防止マニュアル」も掲出していますので、併せてご参照ください。詳細については12月14日付安全情報をご確認ください。

◇HOME > 医師の方へ > 医師宛通知文【患者主治医向け】

12 2019年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設認定、日本造血細胞移植学会（JSHCT）移植診療科認定の年次調査について <認定施設の医師の方へ>

■採取認定施設の医師の方へ

2019年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設の年次調査を例年通り実施します。

■JSHCT移植認定診療科の医師の方へ

2019年度JSHCT移植診療科認定の年次調査を実施します。認定期間が2019年3月末までの全診療科が対象となります。

採取施設認定、移植施設（診療科）認定の年次調査票は、12月末に同じ封筒で施設長宛に発送します。お忙しいところ恐縮ですが、期限内にご返送くださいますようお願いいたします。

◇提出期限：2019年1月18日（金）

13 フォローアップ関連帳票の変更について ～末梢血幹細胞採取計画書等 G-CSF製剤種類の項目追加～ <採取責任医師・輸血責任医師の方へ>

末梢血幹細胞採取計画書・G-CSF投与報告書等にG-CSF製剤の種類について項目を追加することになりました。別紙をご確認のうえご対応をお願いします。

14 ドナー検索停止1年後の手続き変更について <患者主治医の方へ>

ドナー検索停止*の手続き後1年以内に主治医から検索再開の連絡がなかった場合は、その後の患者登録を以下の通り変更します。

【変更前】 検索停止1年後に、検索再開するか患者登録を取り消すかをFAXで問合せ、返信がなければ患者登録取り消し



【変更後】 検索停止から1年後に自動的に患者登録を取り消し
(これまでのFAXの問い合わせはいたしません)

※ドナー検索停止とは

患者登録は継続のままドナー全員を終了し検索を止めることで、最長1年間。「移植は当面不要だが近い将来必要になる可能性がある」という場合の手続き。

これまでの検索停止1年後の確認では、ほとんどのケースが患者登録を取り消されることから、今回の変更に至りました。

15 2019年度調整医師再委嘱手続きについて <調整医師の方へ>

調整医師委嘱手続きは、2016年度から委嘱期間を1年とし、原則として自動更新となりました。一部の施設においては院内規定等により、来年度も委嘱更新手続きが必要となります。対象の調整医師の先生方へ、委嘱更新に関する書類を来年1月中旬以降にお送りしますので、施設長の承諾書をご返送くださいますようお願いいたします。

また、新たに調整医師として協力可能な先生をご紹介いただける場合は、ドナーコーディネータ部までご一報ください。申請書等は当法人ホームページからダウンロードもできます。

◇HOME > 医師の方へ > 調整医師・採取医師の方へ > 調整医師の募集に関して

16 連絡事項 <コーディネーターの方へ>

■季節性インフルエンザ流行に関する対応について

本年もドナーコーディネータ部にインフルエンザ相談窓口を設置しました。別紙「季節性インフルエンザの流行に関する対応について」をご確認ください。

■年末年始の確認検査・再検査実施とSRL予約について【再掲】

ドナーがHLA(DNA)の情報を持っているか否かにより対応が異なります。どちらに該当するかは地区事務局から申し送りしますので、それに従って日程調整をお願いします。

【年末】

- ① 確認検査(検査項目:一般血液検査とHLA ビーズ法) ⇒ 12月26日(水)採血分まで
- ② 確認検査(検査項目:一般血液検査のみ)・再検査 ⇒ 12月28日(金)採血分まで

【年始】

- ① 確認検査、再検査 ⇒ 1月7日(月)採血分から

【SRLの予約】

1月7日～9日に採血希望の場合は、12月26日(水)14:00 まで